

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.205

2022. 10. 31
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

「憲法改悪を許さない全国署名」11,418筆（～10月末。うち郵送301通・1,128筆）

「2022夏の集い 戦争と平和を語る会」を開催しました



～ 一関九条の会 ～

9月10日、一関九条の会会員のお2人を講師に夏のつどいを開催。30人が聴講しました。

菅原典子さんは、太平洋戦争に出兵した父親の二郎さんの手記を読みあげました。ニューギニア島で航空基地を設営する任務につき、連日の空襲や艦砲射撃の中を退避する途中、疲労と絶望で自決する兵も多く、「食料も尽き、芋を植え欠食は免れたものの、食える野草、木の芽、蛙、蛇、虫など、手当たり次第食わざるを得なかった。そのうち他地区から逃げてくる日本軍が増え、道端には兵

隊の行き倒れの死体が悪臭を放つ、救いようもない悲惨な生き地獄だった」と綴られていました。

昭和20年12月、一機の軽爆撃機が通信筒を落下し終戦を伝えられた時には、「我々は必勝の意気に燃え悪戦苦闘、ただ耐えがたきを耐え忍べとの詔勅はなんだったんだろうか、夢は無残にも打ち砕かれ幻と消え去ったのである。ただ悪夢を見た三年間が憎らしい」。その後、オランダ捕虜収容所に行き、昭和21年6月、日本船で帰国できることに。「本当に日本に帰られると実感した時、涙が止めどもなく流れた・何年ぶりかの米のご飯もありがたい」と綴られ、二郎さんは日本の土を踏むことができました。南方戦線の戦死者は、その多くが敵の攻撃より、飢えや病気が原因。手記には、実際に体験した具体的な様子が生々しく書かれており、絶望的な戦いに人間を送り込んだ軍部に改めて強い怒りを感じました。

続いて、大東中学校教諭の熊谷貴典さんが、戦争・平和を工夫しながら教えている様子を報告。生徒がロシアのウクライナ侵攻などをテーマに社会科の探求学習で取り組んだ内容を説明しました。生徒が考えたロシアのウクライナ侵攻の要因や戦争終結のための意見などを紹介し、戦争が長引くことに関しては、犠牲者が増え続けることを嘆くとともに、世界への影響を心配する意見もあったことを報告しました。

お2人の話を聴き、参加者一同平和の尊さについて改めて理解を深めました。

平和憲法を考える講演会を開催 ～ 平泉・9条の会 ～

8月20日に、一関九条の会事務局次長の翁勝彦先生を講師に、「ウクライナ侵略と憲法9条改正問題」と題した講演会を開催。15名が参加しました。

講演では「ロシアのウクライナ侵略の実態と国連の対応」、「ウクライナの歴史や侵略の背景」、「プーチン大統領の歴史認識」から、ウクライナの地政学的な重要性、歴史的な背景を学びました。その上で、翁先生は、「日本に求められているのは、いたずらに脅威を叫び「力」に基づく抑止力の強化ではなく、紛争を話し合いで平和的に解決できる平和のシステムをつくることである。」と述べられました。

参加者からは「翁先生の膨大な資料からウクライナ侵攻の背景が良く分かった」、「様々な脅威に対して、抑止力の強化で対抗するのではなく、平和的な解決をめざすことの大事さを学んだ」との感想が寄せられました。



＜事務局からのお知らせ①＞ **岩手版「憲法改悪を許さない全国署名」用紙を新調！**

9条改憲NO！全国市民アクション事務局は、「憲法改悪を許さない全国署名」の「前文」（請願趣旨）部分を、今日の情勢にふさわしく変更しました。それに合わせ、岩手版の署名もQ&A部分等を変更して作成、今回のニュースに同封しています。前のものも引き続き使用できますが、希望する団体・組織にお送りしますので、岩手県生協連までご連絡ください。

＜事務局からのお知らせ②＞ **学習に活用ください！—九条の会ブックレットのご紹介—**

九条の会事務局から、ブックレット新刊（7/29 九条の会事務局主催学習会の内容が掲載）のお知らせがきました。各9条の会に無料で1冊さしあげます。今回のニュースと一緒にお送りしました。ぜひ学習に活用ください。



「九条の会」ブックレット新刊「新たな改憲の危機と九条の会運動の意義」

- 内 容 I 参院選の結果と改憲のゆくえ 渡辺 治（九条の会事務局）
II 改憲原案作りをいそぐ憲法審査会～改憲発議を止めるために
高田 健（九条の会事務局）

開会挨拶 小森陽一（九条の会事務局長）

はじめに/おわりに 小澤隆一（九条の会事務局）

資料編 2022年7月29日付「九条の会」事務局声明・他

発行 2022年9月29日 サイズ A5判・90頁 頒価1冊500円

◇追加分は1冊400円（送料込）でお送りします。岩手県生協連までご連絡ください。

コラム — 中国「競争相手」、ロシア「脅威」—米が安全保障戦略を発表—

コラム子は9月に「中国は悪くて怖い国！？ 世の中“中国＝悪い・恐ろしい。米国・日本＝正しい”という声に満ち溢れています。ペロシの訪台を受けて中国軍は軍事演習開始！ロシアのウクライナ侵攻後は、“今度は台湾だ”と防衛力強化を目指す日本政府。ちょっと立ち止まって落ち着いて、その中身を検討してみませんか？中国発信の情報も共有を」と題した学習会に参加する機会がありました。発想はとても良く、時宜を得たものと思いました。

その後バイデン米政権が「国家安全保障戦略」を発表し、中国側がこれに「反対」を表明する報道記事に同一紙上で接することが出来ました。次のように見比べてみることはどうでしょうか。（報道から抜粋）

【バイデン米政権についての報道】バイデン米政権は（10月）12日、「国家安全保障戦略」を発表し、中国やロシアへの対抗姿勢を鮮明にしました。一方で気候危機…

戦略は、中国について「国際秩序を変える意思と能力を兼ね備えた唯一の競争相手」だと位置づけ、「最も重大な地政学的な課題だ」と指摘。軍事の近代化や技術革新を行うとともに、日米豪印の協力枠組み「クアッド」や米英豪の安全保障の枠組み「AUKUS」（オーカス）をあげ、同盟国・友好国との連携を強調しました。

ウクライナを侵略するロシア…

（下線はコラム子）

「国家安全保障戦略」は外交、軍事、経済など安全保障上の問題に関し、政権の優先課題を示すもの。年初めの公表予定でしたが、ロシアのウクライナ侵略でずれ込みました。

【中国外務省副報道局長についての報道】米安全保障戦略 中国が反発 中国外務省副報道局長は（10月）13日の記者会見で、バイデン米大統領が発表した「国家安全保障戦略」が中国に関し「最も重大な地政学的試練」等と対抗姿勢を鮮明にしたことを受け、「冷戦思考などの時代遅れの概念に固執することに反対する」と表明しました。

同報道官は「地政学的な衝突や大国間競争を誇張することに賛成しない。こうしたやり方は現代の潮流や国際社会の期待に背き、必ず失敗する」と主張。米中関係について「協力すれば共に利益があり、たたかえば共に傷つく」と改めて指摘した上で、米側に「中国と歩み寄り、中米関係を健全で安定した軌道に戻すべきだ」と要求しました。

コラム子は、米側は世界を二分し、「軍事的緊張」を高める外交を止め、「多極間の国際関係」で「軍事的緊張」のない、安定した平和な国際関係の構築に貢献すべきと思います。（T）

「11月の街宣署名行動」9日(水)12:30～13:00 盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけます。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。